

委員長 ないようでしたら、木質バイオについての質疑は終了とさせていただきます、次まいります。次。

田代委員 ジビエ加工処理施設。これについて、私は凍結すべきと考えます。その理由は、何回もやりとりしましたけれども、足柄上地区1市5町または4町になるかもしれません。そこの町と覚書ないし協定書、全くそういうものがなされてなくて、担保がないです。口頭ではいいよという話はされましたが、それは行政のやるべきことではないということが1点目です。2点目、建設予定地の住民の同意がとりきれてない。3点目、施設管理を予定している猟友会との調整が不足している。すべて未調整のまま、見切り発車をしている。これは後に問題となるので、私は凍結とすべきです。予算から削除ではございません。この3点が解決した段階では執行すべき事業だと思います。以上です。

委員長 ジビエのお話が出ました。田代議員に関しましては、凍結してしかるべき、しっかりとした立案ができた時点でまた再度ということでございます。ほかにございませんか。

大館委員 同じ事業をやっている人間があまり発言は控えたいと思いましたがけれども、事業計画等を聞いてみると、全然理にかなった計画ではありません。それで、販売についてもですね、町長は自衛隊にというような、大量に出るからというような話ですけど、そんな甘いものじゃありません。それで、運営についても、猟友会の方が来て処理をする。技術的に、申し訳ありませんけれども、職人じゃありませんので、商品になる部位も相当な部分が商品にならない。その辺、それ、猟友会さんにとって練習は…練習というか、経験は…経験はあるのと、商品になるものができるかとの差は歴然としてます。私も13年間やった中で、なかなか販売については進みません。ちまたではジビエブームだとか言ってますけれども、実際に流通はあまりしてません。なおかつ、大量に今度は5町か何か分かりませんが、共同でやった場合、相当な量が搬入されると思いますけれども、その量を買取りとか、自分で搬入して使用料で処理をすると。保健所も誰か発言があったけれども、当然販売許可を取らないと販売できません。うちの場合には処理場を持っているので、自由に販売できます。ですから、処理場で処理した製品でも、家庭へ持って行って販売しますとか、それは駄目なん

です。販売の許可を取らないとね。その辺のそういうルート設計というのかな、それらもきちっとしていかないと、この事業は成り立たないと思う。3,000円や5,000円もらっても、光熱費でほとんど終わっちゃうよ。1トンぐらいしかない、冷凍庫。電気料、大体、月1万円ぐらいかかるんじゃないのかな。冷凍だからな。

田代委員 1トンなんて入らないですよ。管理して、こうやって出したりするんだからさ。あれは計算上の1トン。

大舘委員 光熱水費だけで相当な額になっちゃうと。

委員長 したがいまして、凍結ですか。

大舘委員 はい、凍結でございます。

委員長 はい、ほかに。

井上委員 私もですね、前者の意見と同じく、結論的にはこの部分は凍結でですね、もう少し説明とか、内容を待つべきだと思います。何を待つかというとはですね、やはり公設民営の組織ですけれども、やはり建設費に対する町の負担、これを広域の1市5町で…5町か4町かですね、開成はちょっと除くか分からないんですけども。それでやるとすれば、それぞれの首長、町からの当然覚書、協定書、それに建設負担金に対する返済等をどういうふうにするのかという明確な契約があつてしかるべきだと。口頭で出ると言ったんですけども、もし口頭でですね、予算で認めるというわけにもいかないというふうに考えます。

また、さらに維持管理費についても、相当不明点があります。維持管理費のやはりリスク分担として、1市3町分、松田町以外の部分のそういう負担もですね、先ほどの建設負担と同じく、覚書、協定書が明確にされた段階でですね、執行すべきというふうに考えますので、前者と同じく私の意見としてはジビエ事業の建設事業費3,000万円に対しては凍結ということの意見といたします。

委員長 ただいまジビエ事業に対しましてはお三方の御意見が出ました。お三方とも結論的には凍結ということでございます。お三方の御意見は、しっかりとした事業計画がなされてないと。また、4町、1市4町、多分南足柄市さんは独自に走られるかなという…（「開成町」の声あり）いや、開成町はもともと入ってません。開成町はもともと抜けています。ですから、今現実的には1市4町

でございます。ところが、南足柄市におかれましては、内山のほうに独自に建設をという予定もございますので、私の耳に入っている中では、4町、上郡4町でやりたいというふうな、これは決定じゃございませんけども、そういったうわさも入っております。しかしながら、お三方の話は、そういった意味も含めて事業計画がしっかりとなされてない。また、覚書、協定書も交わされてないという意味合いから、それがはっきりするまで凍結ということのお三方の御意見でございました。

これに関して、ジビエに関してほかに御意見が…。

内 田 委 員 ちよっとお聞きしたいんですけど、今、凍結かどうかという話になってるんですけど、先ほどの話の中で、猟友会とうまく調整がとれてないというね、大館議員さんですかね…（「いや、私が言った」の声あり）あ、田代議員ですか。ということなんですけど。私のイメージ、印象としては、猟友会がこういう施設をつくってくれよということが発端だったのかなと思ってるんですよ、正直。それが猟友会とうまくいってないということが一つの理由になってるとなると、これはちよっと、もうこの事業はもう一回考え直さなくちゃいけないなというふうに思います。一応メインなのは猟友会ですからね。

田 代 委 員 ただいま内田議員の疑問点は私がお話ししたことです。もう少し詳しく説明すると、猟友会とうまく調整できてない。つくっていただくのは総論賛成なんです。しかしながら、その運営、どういうふうにやっつけようというのは、アンケートを一回とってもらった。猟友会の人として、1市5町だというふうに私、聞いてますけれども、の猟友会の方を集めて、松田町の経済課長ほか担当がね、説明して、こういう施設をつくったらどうなんでしょうかってアンケートはとった。販売方法とかいろんなことに対して、意見があればくださいよと。そこまではやってるというのは承知してます。私から猟友会にお願いして、猟友会にアンケートをとって、どうなのよって実態まで押さえてます。ところが、その後、じゃあこの施設の管理をどういう運営をするのよと。そういうことについては、一切話が…。

内 田 委 員 ないの。

田 代 委 員 ない。だから、うまくいってないんじゃないくて、管理運営に関しての調整が

何もできてない。

内 田 委 員 そこまでもちゃんと話し合ってると思ってたんですよ。

田 代 委 員 ないの。その話し合っていないから、あまりにもちょっと厳しいんじゃないの
というのが私の意見です。

内 田 委 員 あとは場所の選定だけだと思ったんですよ。設置場所ね。そこまでもいって
なかった。

田 代 委 員 あとは猟友会関係の方居られますから、もし違うようだったら答えてくださ
い。

委 員 長 それでは、内田議員が今、いみじくもちらっと言った言葉なんですけど、多分
この事業については猟友会さんのほうがつくってほしいよという要望に基づい
てとおっしゃったんですが、全く違います。猟友会のほうは一言もこのジビエ
解体工場をつくってほしいと言ったことはございません。

事の発端は、大井町の今の小田町長のマニフェストに大きく書かれたという
ことで、大井町から事の発端が始まったわけでございます。大井町にも猟友会
の支部がございまして。上郡猟友会支部。その中の人たちが、ぜひぜひぜひとい
うことで、小田町長をたたいてマニフェスト化したと。したがって、小田
町長は当時、私と議長同士でしたから、ついでに、中野さん、ノウハウが全く
ございませんと。松田町の猟友会のね、人たちからも応援をしてほしいという
ことで、結果的にもろもろのことを含めて、我が松田町、本山町長が、じゃあ
イニシアチブをとっていきましょう。そういった中にはね、上郡会長という私がこ
こにいるという事の発端もあったかもしれませんが、この目的は、決して猟友
会のためにつくるんではございませんと。一番の大きな目的は、農業事業者の
救済と。皆さん御存じのとおり、今、イノシシ、シカ、サル、もろもろ、ハク
ビシン、タヌキ、キツネといったものに、作るも作るも、みんな餌を作ってや
っているようなものだというので、耕作放棄地がそのことによってどんどん
広がっているのが現状だと。農業者を脅かしているのが現状です。夜中、この
町なかを闊歩すれば、必ずシカの1頭や2頭と出くわせることは請け合いです。
そういったことも踏まえて、またヤマビル対策もそうです。ヤマビルを運んで
くる根幹となるものは、イノシシ、シカでございます。この町の中の郊外をち

よっと歩けば、すぐにこれからの時期、ヤマビルに食いつかれます。特に私が住んでいる茶屋地域の上のほう、川音川に面しているところなんては、もう既にうじゃうじゃいます。そして、ここに寄の方もいらっしゃいますけれども、寄の人たちの庭先には、もう当然うじゃうじゃいる。そういったことも踏まえて、猟友会のためだけでなく、もろもろのことの、感染予防もそうですね。もろもろのことに對して、この施設は必要ではなからうかと。

そして、御存じのとおり、猟友会員の会員の激減が著しいです。それで、平均年齢が65歳以上ということも踏まえて、新しい若手ハンターを育成しなきゃいけない。しかし、そのためには若手ハンターが手を挙げていただけるような施策も持っていかなければならないということで、目的としては、1には農業従事者の救済、そして2つ目には若手ハンターの育成ということで、猟友会がなくなってもいいというものではございませんので、そういった目的を持ってやりますということです。

この4町の首長さん同士は、協定書は結んではいませんが、口頭では皆さん、約束事ができているということまで私は聞いております。したがって、ちまたでは猟友会長の中野が何だっかんだっ、つくれ、つくれ、つくれと、尻引っぱたいしているらしいよといううわさも立っているようではございますが、そのことだけは決してございません。我々猟友会の私利私欲のためにつくっていただくというものではございませんので、どうぞ皆さんが御意見の、屈託のないところをお話しいただいて結構です。私に遠慮はいりません。はい、どうぞ。

齋藤委員 私もですね、結論から言いますと、これ、ちょっと凍結されたほうのほうがいいのかなと思います。この現在予定されている自治会からちょっと相談が来ました。今、委員長が言われたように、獣にはたくさんの菌がついている。コロナは下水にたまるとかって、何かそういう話もある中に、菌を町なかにわざわざ何で持ってくるんだよってという話も出てました。それで、何で町なかじゃなきゃいけないのかという問題ですね。

それと、まだ地域の、住宅地の一部の場所ですので、その辺の人たちに、こういう状況だという説明もしたいんだけど、町側が持ってきたものが、ここに

つくりますからという地図の1枚だけだったらいいんですよ。ですので、地域の人にも説明もできないし、いいかどうか、答えも聞けない状況だと。出来上がったものをきちっと持ってきてくださいと言って質問もしたんですけど、答えも返らない状況があったと。ですので、その辺ができてから地域の自治会の人たちにアンケートをしたいという話をされていました。ですので、ちょっとこの、いろんな事業の中でもそうなんですけど、計画性が満ち足りてない状況下において進まれようとしているんで、ですので、その辺がはっきりするまでは凍結したほうがいいのかなと思います。以上です。

唐澤委員 私も凍結がいいかなと考えています。必要な施設だとは思いますが、候補地もとてもいい場所だと思うんですが、やはりちょっと、居住のところも、すごい近かったりするんで、住民の方々がどう考えているのかというのが、そこだけがすごく気になっています。なので、そこの情報だったりとかというものを十分に取ってからでもいいのかなというふうに考えます。

委員長 ほとんどの方がこの件については凍結というふうな御意見が出そろったようでございます。このジビエに関してはこれで終了とさせていただきたいと思えます。